



特集

— 地域を支える力～剣淵北斗会の現在と未来～（誕生編） —

地域を支え続ける剣淵北斗会

今年で46年目を迎えます

昭和54年11月に社会福祉法人の認可を受け、昭和55年から「剣淵西原学園」の運営を開始した社会福祉法人剣淵北斗会は、今年で46年目になります。

広報7月号では剣淵北斗会の誕生秘話、福祉・介護事業の始まりについて掲載します。

はじめは旧西原小学校・

中学校の閉校から

社会福祉法人剣淵北斗会の歴史は、1978年に惜しまれつつも幕を閉じた「旧西原小・中学校」の閉校から始まりました。1906年6月に開校し、地域の子どもたちの成長を71年9か月にわたって見守り続けてきた学び舎は、多くの卒業生を送り出し、西原地区の象徴となる存在でした。その歴史ある校舎が役割を終えることへの寂しさと同時に、「旧校舎が果たしてきた地域の核としての機能を守りたい。」という地域の皆さんと剣淵町の強い想いが、今日の剣淵北斗会の礎を築いています。

地域に根ざした福祉のはじまり

剣淵西原学園の誕生

旧西原小・中学校の閉校からわずか数か月後の1978年12月には、法人設立計画が北海道に提出され、社会福祉施設の設立に向けた協議が精力的に進められました。

そして、1980年に剣淵北斗会として初の施設「知的障害者更生施設剣淵西原学園（現：障害者支援施設剣淵西原学園）」が、歴史ある旧校舎の一部と体育館をそのまま活用する形で誕生しました。

剣淵北斗会では、西原学園の「誰もが気軽に立ち寄れる温かい雰囲気」を何よりも大切にしました。同時に、障がいのある方々の「人権」を尊重することを事業の根幹に据え、「個性や生活史を尊重し、できる限り家庭に近い環境を提供する。」という揺るぎない理念を掲げました。

これは、当時の社会においては画期的な取組であり、利用者一人ひとりの尊厳を重視する剣淵北斗会の姿勢を示すものでした。

また、地域の皆さんの熱い働きかけによって誕生した経緯から「常に開かれた施設でありたい。」という

願いを胸に、地域の活性化に取り組む町おこし団体の「絵本の里を創ろう会」「剣淵・生命を育てる大地の会」と一体となり、地域行事への積極的な参加や交流活動を実践してきました。西原学園は単なる障害者施設ではなく、地域とともに歩む「みんなの居場所」として、深く根付いていきます。

高齢者介護への新たな一歩

剣淵ひらなみ荘の誕生

時代とともに、剣淵町では地域住民と施設入所者の高齢化が進みました。

この変化に対応するため、剣淵町と剣淵北斗会は、高齢者介護施設の設立に向けた議論を重ねました。お互いの知恵と経験を結集し、利用される方々が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、高齢者福祉のあり方を真剣に模索しました。

そして、1989年に法人運営として特別養護老人ホーム剣淵ひらなみ荘が誕生しました。ここでは、「基本的人権の尊重」「自立支援」を基本方針に掲げ、利用者の方々が自身の選択と自己決定に基づいて、

一人ひとりが生きがいを持ち、心豊かで安心した生活を送れるよう、きめ細やかなケアとサービス提供に努めています。また、日々の暮らしの中で、利用者の方々の笑顔が溢れるような温かい環境づくりを心掛けています。

働く喜びの創造

授産施設剣淵北の杜舎の挑戦

剣淵西原学園と剣淵ひらなみ荘の設立後、剣淵北斗会が次に目指したのは「障がいのある方々が社会の中で働き、自立すること」でした。これまでの「療育」という枠組みに留まらず、次のステップとなる就労前訓練を確立し、社会参加を促進する施設の必要性を強く感じていました。

こうした思いから1993年には、「授産施設剣淵北の杜舎（現：障害者支援施設剣淵北の杜舎）」が誕生しました。この施設は、当時としては画期的な利用者のプライバシーと個別支援を最優先にした全室個室の入所施設であり、全国から多くの見学者が訪れ、注目を集めました。

また、剣淵町の豊かな自然と農業資源を活かし、地域の農業と積極的に協力してともに活動しました。ジュース加工品の製造や農作業への従事といった実践を通して、現在の「農福連携」の先駆けとなる取組をいち早く実現し、利用者の方々が働く喜びや達成感を味わいながら、社会の一員として地域に貢献できる場を提供しています。

当時の施設概要

《剣淵西原学園》



昭和 55 年 4 月開設
入所定員 50 人、通所定員 15 人
建設費用 2 億 2,260 万円
施設面積 2,181.37 m²

《剣淵ひらなみ荘》



平成元年 4 月 1 日開設
入所定員 50 人
建設費用 4 億 9,064 万円
施設面積 2,060 m²

《剣淵北の杜舎》



平成 5 年 4 月開設
入所定員 50 人、通所定員 10 人
建設費用 5 億 6,347 万円
施設面積 1,944.99 m²

歴代の理事長

初代	中田 春治 氏
第2代	松井 正演 氏
第3代	國井 喜一 氏
第4代	柴田 宜雄 氏
第5代	加藤 和夫 氏
第6代	山川 茂 氏
第7代	金澤 正浩 氏
第8代	岡 典義 氏
第9代	渡辺 祐一 氏（現）

あとがき

本特集を掲載するにあたり、社会福祉法人剣淵北斗会の平川総合施設長にご協力いただきました。ありがとうございました。

次回8月号では、現在剣淵北斗会が実施する活動や課題などについて紹介していきます。